嗚呼、インドネシア　　Ah, INDONESIA

第 15 話　街角の看板

　ジャカルタの住宅街をぶらぶら歩いているうちにこんな看板を見つけましたこんなものを写真に撮っているので、もちろん怪しまれました。

　これは浄化槽の掃除屋さんの宣伝です。

　インドネシアではまだ下水道が整備されていないので各家庭に設置した浄化槽で汚水を処理しています。

　浄化槽が固形物でいっぱいになったり詰まってしまったときに掃除屋さんを頼みます。

　バキュームカーがきてズボズボ吸い取ってくれます。作業中にはあの昔懐かしい匂いが漂います。

　インドネシアでは昔から糞尿を肥料として使うことをしませんでしたので、バキュームカーのにおいはみなさんあまり気にしないのでしょうね。

日本だと人権問題になりそうなのですが、インドネシアでは平気でコビト(肢体発育障害者)を子供たちの誕生日などの余興に呼びます。

これも一つの社会弱者に対する対応の一つのやり方ではないかと思います。平均から離れた人たちに対して、日本社会はあまりにも冷淡な対応をしています。

「売り家」の看板。

会社の名前と「売り家= DIJUAL」の表示。さらには電話番号と、Dian や Ita など担当者の名前まで入っていました。

「売り家物件はこちら」の案内板です。
もちろん電柱の使用料金は払っていないんだろうな。

こちらも案内板です。

Bintaro Sektor IX にて

2006-03-31 作成
2014-09-28 PDF 化